



令和元年度 12月



学校だより

第10号

ひとみかがやく 西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 Tel.814-3603
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka>

「つながり」を実感した11月

校長 境 伸泰



11月16日(土)、大規模な震災を想定した「西が岡小学校地域防災拠点訓練」が行われました。早朝より地域防災拠点の運営委員の方が避難所の開設準備を行い、10の自治会・町内会の方と西が岡小学校の全児童が防災訓練に参加しました。左の写真は、高学年の子どもたちが、地域の方や消防署の方から説明を聞き、毛布1枚と棒2本で簡易担架を作っている様子です。子どもたちは、なぜ毛布がずれないかと不思議がっていました。担架に乗った人の体重が毛布のずれを防いでいる構造に驚いていました。下の写真は、体育館が避難所になった場合の避難場所区割り体験をしている様子です。一人あたりのスペースは1m×2mで、子どもたちは、長さの基準となる棒を使い、てきぱきと区画を作っていました。低学年と中学年の子どもたちは、地域防災拠点の運営委員の方がだす防災クイズに答えたり、防災倉庫や仮設トイレ、炊き出し訓練等の見学をしたりしました。当日は、677名の「子ども・保護者の方・地域の方・学校職員」で地域防災拠点を実施することができました。計画や運営に携わっていただいた運営委員の方には、学校との調整に多くの時間をさいていただきました。西が岡小学校と地域の方との「つながり」の深さと感じるとともに、教育活動への御理解と御協力に感謝しております。ありがとうございました。

難所になった場合の避難場所区割り体験をしている様子です。一人あたりのスペースは1m×2mで、子どもたちは、長さの基準となる棒を使い、てきぱきと区画を作っていました。低学年と中学年の子どもたちは、地域防災拠点の運営委員の方がだす防災クイズに答えたり、防災倉庫や仮設トイレ、炊き出し訓練等の見学をしたりしました。当日は、677名の「子ども・保護者の方・地域の方・学校職員」で地域防災拠点を実施することができました。計画や運営に携わっていただいた運営委員の方には、学校との調整に多くの時間をさいていただきました。西が岡小学校と地域の方との「つながり」の深さと感じるとともに、教育活動への御理解と御協力に感謝しております。ありがとうございました。



11月21日(木)、2年生の子どもたちが生活科の授業で「焼き芋」に取り組んだ様子です。サツマイモを新聞紙とアルミホイルで巻いた後、杉本さんと吉村さんから焼き芋の作り方について話を聞きました。下の写真は、出来立ての焼き芋をほおぼる子どもたちの様子です。子どもたちは、「めっちゃおいしい」「あつあつ ほくほく」と言いながら、甘くておいしい焼き芋を夢中で食べていました。お芋が甘くておいしくなるようにと、杉本さんたちが半日がかりで火の番をしました。そのため、子どもたちは、作り方の説明をしたり、火床の調整を続けたりした用務員の方に、感謝の気持ちをもってお礼を伝えていました。担任や教科指導の先生だけでなく、子どもたちの教育環境の整備に努めている学校職員との「つながり」を子どもたちは実感していました。



12月17日(火)、西が岡小学校の5年生が東中田小学校の5年生と区球技大会(サッカー・バスケットボール)を行います。左の写真は、区球技大会のために、西が岡小学校の5年生と6年生がサッカーの試合をしている様子です。5年生の子どもたちは、「6年生は強かった」「6年生のチームワークがすごかった」とつぶやいていました。また、「自分たちができていないところがわかった」と試合を振り返っていました。6年生は、「パスをつないで積極的に攻める」「気持ちで勝つ」などのアドバイスを5年生にしていました。

6年生からの熱いエールをうけ、5年生は「西が岡魂を燃やせ チームワークを大切に、パスをつなぎみんなでゴールをめざせ(スローガン)」の気持ちをさらに高めていました。行事を通して、高学年の子どもたち同士の温かいつながりがさらに深まりました。